

技術シーズ分野; 臨床・基礎医学

技術シーズ;リアルタイムPCR装置

— 遺伝子の定量ができる装置 —



国立大学法人滋賀医科大学

実験実習支援センター

産学連携 <http://www.crl.shiga-med.ac.jp/home/sangakurenkei/sangakurenkei.html>

「試料中の特定のDNAを定量する」

■技術シーズの概要

いわゆるPCR法は、微量のDNAを百万倍以上に増幅することができますが、元のDNAの量を定量することができません。

一方、このリアルタイムPCR法は、そのDNAの量を定量することができる装置です。また、特定の遺伝子の発現量を知ることができます。

■計測・評価例

- ・DNAやRNAの発現量を調べることが可能

＜現有機器の一例＞



装置型式: ロシュ・ダイアグノスティクス LightCycler®480 System II

装置の仕様

温度制御範囲:
37°C~95°C
蛍光励起波長数:
5波長
蛍光検出波長数:
6波長
サンプル数:
96または384

■担当者からの一言

- ・一度に96~384サンプルの測定が可能です。

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp